

第3回瑞浪市市民まちづくり会議 会議録

■日時：令和4年3月16日(水) 19:00～20:55

■場所：瑞浪市役所 西分庁舎1階 会議室

■出席委員

高野 雅夫、羽柴 誠、小木曾 文和、谷本 陽子、
大竹 和夫、本荘 恵子、山田 仁美

欠席委員

金津 誉、三宅 芳明

[名簿順 敬称略]

■事務局

小木曾 昌弘（まちづくり推進部長）

加藤 博史（市民協働課長）

渡辺 裕（市民協働課まちづくり支援係長）

中箴 高弘（市民協働課まちづくり支援係主査）

■日程

1. 会長あいさつ
2. 審議事項「まちづくり基本条例」の検証課題について
3. 連絡事項

■議事

事務局 皆さん、こんばんは。

本日は、大変お忙しい中、会議にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

ただいまより、第3回瑞浪市市民まちづくり会議を開催します。会議冒頭部分のみ、事務局で進行させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。本会議は、当初、2月22日に開催予定でしたが、岐阜県が「まん延防止等重点措置区域」に指定され、飲食店の営業時間だけでなく、公共施設の使用についても午後8時までに制限されたことと、会議等は極力、中止、延期をする方針が示されたことから、一度、延期をさせていただきました。その後、3月7日以降については、県の方針が緩和され、会議の開催が可能となると同時に、公共施設の使用制限も解けたことから、改めて、本日の会議開催とさせていただきます。

なお、新型コロナは収束したわけではございません。「まん延防止等重点措置」も21日までで解除となる見込みではありますが、オミクロン株のBA2という亜種の出現により、今後も感染拡大が懸念されます。

本日の会議も、距離をとるなど、感染防止対策を徹底して行いますが、皆様におかれましても、社会経済活動の継続を意識しながらも、引き続き、感染防止対策の徹底をお

願いたいと存じます。

事務局 ありがとうございます。それでは、羽柴会長、ごあいさつをお願いいたします。

【1. 会長あいさつ】

会 長 こんばんは。あたたかい日が1週間ほど続き、一気に春が進みました。黄色いタンポポが咲いているのを見つけ、春は黄色い花とともに進んでいくという言葉思い出しました。世界に目を向けると、ウクライナでは悲しい戦争が続いており、一刻も早く平和なウクライナになってほしいと思うところです。

前回の会議では、高野先生の貴重な講演をいただいており、心に残る言葉がありました。「瑞浪市が存続するかしないかは、瑞浪市民の意思による」「瑞浪市民が無為無策のまま10年が過ぎると、否応なく存続しない方向になる」「瑞浪市の若い人が生き生きと暮らしている、子育てしている姿が外から見えることがとても大切である」等)

本日の会議では、瑞浪市が取り組んでいる課題に対して、実践的な行動となっているかどうか、成果に繋がっているか等について、皆様それぞれの視点で厳しくご意見をいただき、実り多い会議としていきたいと思えます。

事務局 ありがとうございます。

本日、三宅委員、金津委員は都合により欠席との連絡をいただいております。

本日の会議は、委員9名中7名の出席で、本会議の開催要件を満たします。

それでは、羽柴会長（議長）に議事を進行していただきます。

羽柴会長（議長） よろしく申し上げます。

会長 それでは、これより会議を進めてまいります。

委員の皆さまには、慎重な審議をお願いしたいと思います。

会長 それでは、レジメに従い会議を進めたいと思えます。

2. 審議事項について、瑞浪市まちづくり基本条例の検証課題について、事務局より説明をお願いします。

事務局 <事務局より説明。>

それでは、説明させていただきます。

委員の皆様には、大変お忙しい中、今後の会議で検証するアンケートにご協力くださりまして、誠にありがとうございました。

本日の会議では、前回説明させていただいたとおり、個別の取組について議論いただきたいと思えます。

- ① 第9条 18ページ 地域学校協働活動の体制整備
(社会教育課、学校教育課)
- ② 第9条 14ページ 子ども及び若者のまちづくりへの参加促進
(青少年育成活動)
- ③ 第9条 17ページ 域学連携事業の推進

の3つについて検証していただきたいと思います。

この3つはすべて、子ども、若者に関連する事業となります。

1つのテーマにつき、20分の検証時間となります。

担当課の事業説明を10分、質疑応答を10分とさせていただきます。

なお、地域学校協働活動の体制整備については、担当課(学校教育課・社会教育課)毎に取組み内容が異なるため、それぞれ説明および質疑応答を行います。

また、検証はワークショップ形式を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、ワークショップ形式は行わず、教室形式で行います。

最終的には事業の検証シートをご記入いただくこととなりますが、短時間での進行となるため、検証シートへの記入時間が取れませんので、持ち帰りいただき、3月24日までに市民協働課までご提出いただきたいと思っております。

なお、メモ用と清書用として、取組みごとに2枚ずつ、検証シートを配布しますので、適宜、ご利用ください。

(検証シートの記入方法を説明)

会 長 事務局の説明に対し、何か質問はありますか。

<質疑なし>

会 長 それでは、事務局の提案のとおり、会議をすすめてまいります。
では、さっそくテーマ①について、学校教育課よりご説明をお願いします。

テーマ① 第9条 18ページ 地域学校協働活動の体制整備
< 学校教育課より説明 >

会長 ただいまの説明に対し、何か質問はありますか。

委員 検証シートには、目的が達成できたかどうかを聞いております。
ただいま、説明いただいた取組みの目的はなんでしょうか？

学校教育課 まずは学校運営協議会を設置していく、ということが目的となっております。
また、今年度実践した地域の活動を通じて、地域の方たちにとっては、子供たちと接する嬉しさが得られ、また、子供たちにとっても、地域の方々と一緒に取り組むことで教えを得られる。こういった成果もみられました。

委員 稲津町での準備期間の取組みを通じて、一言いいでしょうか。
従来から地域と学校との協働活動はありましたが、改めて位置づけを明確化され、学校と地域が対等となり共に活性化していくことが大切であると。どんな子供に育ってほしいのか、目指す子供の姿を共有していくことで、地域と学校が連携する中身が充実していくのではないかと感じました。

また、地域の立場で感じたことは、これまでのやり方以上に、地域の人的資源、物的資源を掘り起こして、結び付けて、地域力をUPさせないと目的が達成できないのではないかと気づかされました。

学校と地域の結びつきは多様化しており、それぞれの仕組みは異なります。それぞれの組織体にあわせた形で市からの支援がいただけている。さらに、今後の活動にあわせて、財政的な支援も含め考えていただければと感じました。

委員 新しい取組みでありますので、負担が大きいと思うのですが。先生方の負担、地域の負担が大きくなっていると思うのですが、それに対するサポートは何かありますか？

学校教育課 新しいことを始めますので、負担が増えます。極力、負担は軽減したいと考えており、まったく新しい活動を始めるというよりは、今ある活動をそのまま継続しながら、視点や接し方を変えていきたいと思いますという形で進めております。
なお、学校運営協議会事務にかかわる人的サポートについて、予算措置しています。

会長 この取り組みについては、以上とします。

それでは、テーマ①について、つぎに社会教育課よりご説明をお願いします。

テーマ① 第9条 18ページ 地域学校協働活動の体制整備
＜ 社会教育課より説明 ＞

会長 ただいまの説明に対し、何か質問はありますか。

委員 私個人が感じたこととして、まったく体感がありません。現在、子供は学校と関りが無い年齢に育っておりますし、今年度は、地域の自治会の役員をやっていましたが、学校との連携についてまったく耳に入ってきていませんでした。先に取り組んでいる校区がある一方、今年度は瑞浪小学校区を取り組まなかったのは、人口規模が大きいエリアであることが理由でしょうか。

社会教育課

瑞浪小学校区では、令和4年度に準備委員会を立ち上げて、令和5年度から取り組む計画で進めています。小学校と中学校が同じ学校区でありますので、小学校と中学校合同の組織としていこうと考えています。

会長 人口規模の大きい地域だと、地域と学校との協働が難しいのではというご心配の質問だったと思います。

委員 大人の代表者ばかりでつくる会議なので、児童会など子どもたちから地域の方への要望をした場合の受け皿があるといいですね。

会長 双方向の意見の交流ができると良いですね。

委員 日吉地区では、アンケートを実施し、今までやってきたことをベースに、これまでより学校との関わりを深めていこうと動いています。
日吉のテーマ「子どもは日吉の宝、地域みんなで一緒になって守っていこう。」、地域として、子ども達を見守っていこうという動きを進めております。

委員 土日の活動は、子供たちがなかなか参加できていません。クラブ活動の際に、ついでに参加しやすくなる等、子どもたちが参加しやすくなると良いと思います。

委員 先ほどと同じ質問ですが、この活動の目的は？

社会教育課

学校を核とした地域づくりです。

会長 こういった活動は成果をどのように評価していったらいいのか、難しいですね。
何年か後に、地域の人の考え方がどのように変わっていたかアンケートをとるとか。

この取り組みについては、以上とします。

それでは、テーマ②について、社会教育課よりご説明をお願いします。

テーマ② 第9条 14ページ 子ども及び若者のまちづくりへの参加促進
< 社会教育課より説明 >

会長 ただいまの説明に対し、何か質問はありますか。

委員 他地区の良い取組みを共有する、そこから学ぶことが大切であると。通信での紹介にとどまらず、話し合いなどを通じて共有できると良いと思います。

委員 若者との関わりの例として、土岐地区のまちづくりでは、中京学院大学と一緒にあって、土岐小学校の校庭に、三好桜を植樹されています。小学生、中学生に留まらず、大学生との関係性が築かれていました。また、今年の新成人のアンケートによると、「積極的に地域と関わりたい」、「まちづくりは人づくり」という考えを持っており、とてもうれしく思いました。

委員 成人式の実行委員になることで、瑞浪市に思いの持っている子ではなかった子が、陶磁器の産地であることなど、瑞浪市のことをよく知る機会となったようでした。

会長 この取り組みについては、以上とします。

それでは、テーマ③について、市民協働課よりご説明をお願いします。

テーマ③ 第9条 17ページ 域学連携事業の推進
＜ 市民協働課より説明 ＞

会長 ただいまの説明に対し、何か質問はありますか。

委員 若者の IT スキルを活用した斬新な取り組みであると感じました。今回、学校側の先生との関りはどうでしたでしょうか。また、国などの財政支援は？

市民協働課

学校の担当先生も一緒になり、始める前から打ち合わせをしながら進めております。また、財政支援としては、来年度の事業について国の交付金を活用する予定です。

委員 学生さんと一緒に活動することで、輪が広がるとともに、瑞浪市の魅力を再発見していただける良い活動であったと思います。

委員 参加した高校生（学生）のシビックプライドが高まったかどうか、ワークショップなどで確認してみるのも良いと思います。

会長 この取り組みについては、以上とします。
つづいて、事務局からの事務連絡をお願いします。

事務局 次回の会議は、令和4年5月頃を予定しております。

会 長 本日は長時間にわたり慎重な審議をいただき、ありがとうございました。
次回は5月中に開催される予定ということです。
改めて事務局から案内が出ますので、ご承知おきください。

【閉会】